



得意&好きを仕事にするために
必要な情報収集と学びを継続

● 介護タクシー-Béat (ベア)

山下 慎也さん

こんな事業です!



障害のある方、ケガをした方、高齢の方など、一般タクシーでの送迎が難しい人を対象にしたタクシー。車イスに乗ったまま乗車でき、乗り降りの介助もしてくれる。また病院や買い物の付き添いなどのサポートも充実。家族のような笑顔で迎えてくれるアットホームな雰囲気もうれしい。

住所/安芸高田市甲田町上甲立509-3
☎090-1229-0003(要予約)
営業時間/24時間 定休日/不定休
ホームページ/なし

誰でも住みやすい地域づくり
に貢献できる介護タクシーに憧れ

長年、建築業に携わっていた山下さんが、福祉業界に興味を持ったのは同居していた叔父さんの存在。介護が必要だった叔父さんが介護タクシーを利用するようになり、初めてその存在を知りました。「車を運転することが好きで、それが困っている人の力になれるかもしれない」と思った山下さんは、情報収集を開始。運転技術だけでなく、介護や福祉についても学ぶ必要があると考え、介護職員初任者研修にも参加しました。その後、甲田町の特別養護老人ホームに運転手として就職。「職業ドライバーとして安全に運行するためのノウハウだけでなく、利用者との関わり方や接し方なども身に付けることができました」と話します。創業のきっかけは、介護タクシーの開業支援をしている人との出会い。具体的な話を聞いていくうちに、どんどん創業が身近なものになっていきました。

その存在を知ってもらうことが
今後の課題。新しいステージへ

創業へ動きだした山下さんは、営業許可の取得に必要な書類を自ら作成。介護車両の購入などに必要な資金は商工会に

これから創業する人へ



創業にはある程度の勢いも必要ですが、それだけでは成功しません。しっかりとした下調べ、専門機関や専門家からの情報収集など、創業前にどれだけ多くの情報をもっているかがカギになります。損をしないためにも、準備は念入りに行ってください。

相談し、創業計画や資金計画を作成して日本政策公庫で融資を受けました。「初期投資が大きい仕事。融資や補助金がなければ、創業できませんでした」と話します。今後の課題は、周知活動。チラシの作成やSNSでの発信にも力を注いでいます。「旅行やレジャーなど、幅広い使い方ができることを知ってほしい。車イスでもストレッチャーでもどこでも行けます」と山下さん。さらに、広島市消防局が認定する配送事業「民間救急」の指定を受けるため、広島営業所の開設、車とスタッフの確保を目指しています。